

令和 8 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

| | | | |
|------------------|--|----------|---|
| 実習タイトル | 棘皮動物ウニの発生機構および脊索動物ホヤ胚の発生機構 | | |
| 実習内容 | <p>棘皮動物ウニの発生機構コースのテーマは「間接発生」機構である。間接発生とは幼生と成体の二つの相をもつ発生様式であり、多細胞動物の初期進化を理解するうえで重要な鍵の一つであると考えられている。本コースでは顕微操作、細胞標識等の実験を通してウニの間接発生機構の概要の理解を目指す。さらに様々な動物の幼生観察から間接発生様式の多様性と共通性を学習する。また、多細胞動物の初期進化研究との関連についても解説する。脊索動物ホヤ胚の発生機構コースでは海産無脊椎動物の発生研究で特に解析の進んでいる脊索動物ホヤを用いて、胚発生過程における発生運命決定機構の理解を目指す。マボヤ発生研究の現場で駆使されている実験技術を習得し、その技術を使って発生運命決定の仕組みの巧妙さを体感する。</p> | | |
| 実習内容キーワード | 発生生物学 間接発生 発生運命決定 ウニ マボヤ | | |
| 担当教員氏名・所属・役職名 | 熊野岳・東北大学海洋生物学教育研究センター・教授 美濃川拓哉・東北大学海洋生物学教育研究センター・准教授 森田俊平・東北大学海洋生物学教育研究センター・助教 | | |
| 協力教員氏名・所属・役職名 | | | |
| 対象学生・学年 | 学部 2~3 年 | 開講期間 | 2027 年 3 月第一週~第二週 |
| 開講大学・施設名 | 東北大学大学院生命科学研究科附属 浅虫海洋生物学教育研究センター | | |
| 施設の住所 | 青森県青森市浅虫坂本 9 | | |
| 電話 | 017-752-3388 | F a x | |
| e-mail | smorita@tohoku.ac.jp | Web Site | http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/ |
| 交通案内 | 「東北新幹線」新青森駅から「JR 奥羽本線」で青森駅へ、「青い森鉄道」に乗り換え（所要時間 25 分）、浅虫温泉駅下車、浅虫温泉駅から徒歩 20 分 | | |
| 費用 | 1 日 2000 円程度（昼食・夕食含む） | | |
| 授業科目名 | 公開臨海実習 | | |
| 単位数 | 2 単位 | 定員数 | 20 名 |
| 授業料の徴収について | なし | | |
| 受講生選抜基準と申し込み締め切り | <p>先着順、人数が多い時には他の公開臨海実習と重複受講しない者を優先します。</p> <p>申し込み締め切り:2027 年 1 月頃</p> | | |
| 選抜結果連絡法 | 履修に必要な書類とともに、メールによって本人に直接通知します。 | | |